

## 第 2 部 活動報告

---

### 1. 活動記録

2019 年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。

開催件数	研究会(講演会、シンポジウム含む)	26 件
	公開講座	1 件(全 4 回)
刊行物	高等法政教育研究センター年次報告書 (2018 年度)	2019 年 7 月 WEB 公開
高校・中学等の 訪問対応	訪問受入:道内 3 校・計 57 名	
	出張講義:道内 2 校	

## 2019 年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ一覽

<p>04 月 03 日 (水)</p>	<p>第 200 回北大民法理論研究会 『サーミ民族とアイヌ民族が抱える諸問題ーウメオ大学訪問団をお迎えして』</p> <p>時間: 14 時～ 場所: 北海道大学法学部センター会議室 (315 室)</p> <p>テーマ及び報告者: 『サーミ民族とアイヌ民族が抱える諸問題ーウメオ大学訪問団をお迎えして』</p> <p>(ウメオ大学側)</p> <p>①Krister Stoor(Director, Vaartoe)(ウメオ大学サーミ民族研究所所長) ""A Standpoint for Sámi and Indigenous Research"" (サーミ民族の立場と先住民族研究)</p> <p>②Åsa Össbo, Ph.D. "Industrial Colonialism through the Swedish Hydropower Expansion in Sápmi Land"" (サーミの地におけるスウェーデン水力発電の拡充による産業的植民地主義)</p> <p>③Kristina Sehlin MacNeil, Ph.D. ""Extractive Violence on Indigenous Land: How Western perspectives invisibilize connection to Country"" (先住民族の土地における鉱山活動の暴力ー如何に西側の見方が、地方との繋がりを不可視化しているか)</p> <p>④Kristina Belancic, doctoral student ""Education in Sápmi: from language policy to language practice"" (サーミ語教育ー言語政策から言語実践へ)</p> <p>(北大側、アイヌ民族から)</p> <p>①Jeff Gayman, Professor of Media Communication, Hokkaido Univ., ""An Absence of Ainu Autonomy in Indigenous Policy and Research: Crisis for the Ainu Worldview""(先住民政策及び研究におけるアイヌの自立・自己決定の欠如ーアイヌの世界観にとっての危機)</p> <p>②Kunihiko Yoshida, Professor of Law, ""What Is Hidden in the Recent Statute: Land, Environment, and Repatriation Issues of Ainu Paople"" (近時のアイヌ立法で欠落していることーアイヌ民族の土地・環境・遺骨返還問題)</p> <p>③Shiro Kayano, Director of Kayano Museum in Nibutani, ""The Renaissance of Ainu Language Education"" (アイヌ語教育の復権)</p> <p>④Ryohko Tahara, President of Ainu Women's Association, ""The Need for Indigenous Rights in the Recent Ainu Legislation"" (アイヌ新法に先住民族の権利を！)</p> <p>共催: 北海道大学民法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
<p>04 月 13 日 (土)</p>	<p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>時間: 14 時～18 時(予定) 場所: 北海道大学 法学部 321 号室</p> <p>報告Ⅰ: 「台湾における同性婚法の成立について」鈴木 賢(明治大学教授) 報告Ⅱ: 「クロアチアにおける同性カップル法制化の経緯」伊藤知義(中央大学教授)</p> <p>共催: 「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

04月13日(土)	<p><b>法理論研究会定例研究会</b> 「公安警察と治安判決(1980-2010):先制的デモ規制体制の確立」</p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告:許仁碩氏(北海道大学法学研究科博士課程、法社会学)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
05月18日(土)	<p><b>ワークショップ「体制転換と法」研究会</b></p> <p>時間:13時～18時(予定) 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告Ⅰ:「セルビアの剥奪財産返還補償法」伊藤知義(中央大学教授) 報告Ⅱ:「ロシアにおける歴史政治と記憶法—「歴史の歪曲」をめぐる戦い」阿曾正浩(北見工業大学准教授)</p> <p>共催:「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
05月25日(土)	<p><b>法理論研究会定例研究会</b> 「行政法のデザイン--法学的的方法論と制度設計論のはざままで」</p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告:米田 雅宏 氏(北海道大学大学院法学研究科・教授、行政法)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
06月29日(土)	<p><b>法理論研究会定例研究会「上杉慎吉憲法学の再構築への試み」</b></p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告:森元 拓 氏(山梨大学教育学部・准教授、法思想史・公法学)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
07月20日(土)	<p><b>2019年度 YeLL 実践検討会</b> 「—自治体等の実践から学ぶ—医療的ケア児の支援体制&lt;保健編&gt;」</p> <p>時間:15時～18時 場所:学術交流会館小講堂</p> <p>1 情報提供 (1) 医療法人 稲生会 理事長 土島 智幸 (2) 北海道保健福祉部地域医療推進局 地域医療課医療政策グループ 担当者</p> <p>2 事例報告 (1) 標茶町保健師 油谷 亜鶴佐 氏 (2) 北海道総合在宅ケア事業団 標茶地域訪問看護ステーション 所長 小林 岐由子 氏 (3) 釧路市障がい者基幹相談支援センター 所長 金子 一也 氏 (4) 釧路保健所 健康推進課 健康支援係 主査 宍戸 明美 氏</p> <p>3 ディスカッション 医療的ケア児の支援体制の構築について</p>

	主催:医療法人稲生会共催:北海道大学社会保障法研究会、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター、北海道大学公共政策大学院附属公共政策学研究センター
07月20日(土)	<p><b>法理論研究会定例研究会</b> 「論理を超えた『理』:清代の『盜賊自首』律例について」</p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告者:謝晶氏(中国政法大学法学院・副教授、東洋法制史) コメンテータ:鈴木秀光氏(京都大学大学院法学研究科・教授、東洋法制史) 使用言語:中国語(日本語通訳あり)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
07月30日(火)	<p><b>ワークショップ「体制転換と法」研究会</b></p> <p>時間:14時～18時 場所:北海道大学法学部321号室</p> <p>第1報告:徐行(北海道大学准教授) 「習近平体制下の司法改革——人民法院の『変』と『不変』」 第2報告:松本ますみ(室蘭工業大学教授) 「宗教の中国化と宗教リスク論の中のイスラーム——『一帯一路』構想と『さかさまの平和主義』」</p> <p>共催:「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
08月08日(木)	<p><b>法理論研究会特別会「法多元主義的法的推論の試み」</b> 「仲裁を通じた『私人による法実現』の封殺:近時の合衆国最高裁判例を中心に」</p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部棟3階321研究会室</p> <p>■主報告 「法多元主義的法的推論の試み」 報告者:浅野有紀氏(同志社大学大学院司法研究科・教授、法哲学)</p> <p>■副報告 「仲裁を通じた『私人による法実現』の封殺:近時の合衆国最高裁判例を中心に」 報告者:会沢恒氏(北海道大学大学院法学研究科・教授、比較法・英米法)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、科研基盤研究(B)「トランスナショナル・ローの法理論——多元的法とガバナンス」(研究代表者:浅野有紀)研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
09月19日(木)	<p><b>講演会「初音ミクの『ルールデザイン』 ～創作とブランディングと知財法の交点の視座から～」</b></p> <p>時間:16時30分～18時 場所:北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院メディア棟608演習室(6階)</p> <p>演題:「初音ミクの『ルールデザイン』～創作とブランディングと知財法の交点の視座から～」 講演者:菱山豊史氏(クリプトン・フューチャー・メディア株式会社管理チーム法務担当)</p> <p>主催:北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 共催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>

10月02日(水)	<p><b>法理論研究会定例研究会</b> 「リューベック法の新たな体系化——バルデヴィク写本(1294年)をめぐる」</p> <p>時間:13時～ 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告者:アルブレヒト・コルデス氏(フランクフルト大学・教授・法制史) 「リューベック法の新たな体系化——バルデヴィク写本(1294年)をめぐる」 使用言語:ドイツ語(日本語通訳あり)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
10月25日(金)	<p><b>共催研究会「CISG及び他の国際契約法におけるハードシップ (Hardship under the CISG and other international instruments)」</b></p> <p>時間:15時15分～18時 場所:北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)409号室</p> <p>報告者:インゲボルグ・シュヴェンツァー(Ingeborg Schwenzer)氏(バーゼル大学名誉教授) 「CISG及び他の国際契約法におけるハードシップ(Hardship under the CISG and other international instruments)」 ※英語使用、通訳あり</p> <p>共催:私法統一研究会、北海道大学民事法研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
10月26日(土)	<p><b>法理論研究会定例研究会</b> 「ラテンアメリカにおける先住民自治の現状と諸問題」</p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p> <p>報告者:ルベン・エンリケ・ロドリゲス・サムディオ氏(北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター研究員) 「ラテンアメリカにおける先住民自治の現状と諸問題」</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
10月26日(土)	<p><b>ワークショップ「体制転換と法」研究会</b></p> <p>時間:14時～18時 場所:北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W401</p> <p>第1報告:何宗霖(北海道大学外国人客員研究員・台湾桃園地方法院裁判官) 「台湾における裁判官の採用・人事評価・職務監督」 第2報告:伊藤知義(中央大学教授) 「ロシアにおける住宅の善意取得をめぐる現状とその法的構造——住宅犯罪被害者の保護に焦点を当てて」</p> <p>共催:「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター、科研費基盤研究(C)「台湾における司法院大法官解釈に関する比較法研究」(研究代表者:徐行)</p>
11月14日(木)	<p><b>特別研究会「中国における法の近代化」</b></p> <p>時間:13時～18時 場所:北海道大学法学部センター会議室(315室)</p>

	<p>第1報告: 薛小建 氏(中国政法大学法学院・教授)「1982年憲法の歴史的評価」  第2報告: 陳征 氏(中国政法大学法学院・教授)「1949年以降の中国における憲法改正の特徴とその内在的法則」  第3報告: 謝晶 氏(中国政法大学法学院・副教授)「法の近代化以降の『礼治』に対する誤解」  第4報告: 米多 氏(中国政法大学法学院・講師)「国防動員法体制に関する日中比較」  使用言語: 中国語(日本語通訳つき)</p> <p>主催: 「体制転換と法」研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
12月07日(土)	<p><b>北海道大学法学研究科・湖南大学法学院 合同研究会</b></p> <p>時間: 14時～18時  場所: 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W310</p> <p>第1報告: 孫一然「不正競争防止法における商業道徳原則の適用」  第2報告: 楊玉甜「取締役、上級管理職の信義義務とその違反責任——中国会社法における取締役の説明義務に関する研究」  第3報告: 呉 語「立法における物権変動モデルに関する日中比較」  第4報告: 張 鍵「ローマ法における用益権と居住権による中国の居住権制度に対する啓発」  第5報告: 白 鴿「行政不作為の認定について」</p> <p>主催: 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
12月09日(月)	<p><b>セミナー「日本の法学教育におけるジェンダーと法——予備的検討とコメント」</b></p> <p>時間: 18時30分～20時30分  場所: 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W409室</p> <p>講演: Mark Levin 氏(ハワイ大学 ロー・スクール教授)  「日本の法学教育におけるジェンダーと法——予備的検討とコメント」</p> <p>主催: 北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター  共催: 北海道大学大学院文学研究院応用倫理・応用哲学研究教育センター、北海道大学人材育成本部女性研究者支援室、北海道大学法理論研究会  《2019年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」事業》</p>
12月10日(火)	<p><b>2019年度 公共経営事例研究・国際政治経済事例研究「グローバル化と自治体運営」</b></p> <p>時間: 16時30分～18時45分  場所: 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W203</p> <p>講師: 山本進(東神楽町町長)、齊藤啓輔(余市町町長)  担当教員: 遠藤乾(公共政策大学院院長/国際政治)、山崎幹根(公共政策大学院教授/行政学・地方自治論)</p> <p>主催: 北海道大学公共政策大学院  共催: 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
12月14日(土)	<p><b>国際シンポジウム「同性婚をめぐる司法と法学の展開」</b></p> <p>時間: 14:00～17:00  場所: 北海道大学 文系共同講義棟(軍艦講堂) 8番教室</p> <p>報告者:</p>

	<p>[台湾の状況] 湯 徳宗 (Dennis T. C. Tang;台湾・東呉大学・教授、元 司法 院大法官)</p> <p>[アメリカ・カナダの状況] 白水 隆(千葉大学・准教授)</p> <p>[日本の展望] 綱森史泰(札幌弁護士会)</p> <p>コメンテーター:鈴木 賢(明治大学・教授)、佐々木 雅寿(北海道大学・教授)</p> <p>通訳・コメンテーター:徐 行(北海道大学・准教授)</p> <p>司会・コメンテーター:辻 康夫(北海道大学・教授)</p> <p>主催:北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> <p>共催:北海道大学公共政策大学院、科研費プロジェクト基盤(B)「多文化主義 政策はいかにして受容されるか」</p> <p>後援:北海道大学大学院文学研究院 応用倫理・応用哲学研究教育センター</p>
12月19日(木)	<p><b>法理論研究会特別会</b> 「現代法哲学における平等論の最前線 ——『関係の対等性と平等』(弘文堂、2019年)の補遺も兼ねて」</p> <p>時間:15時～</p> <p>場所:北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)4階 W409号室</p> <p>報告者:森 悠一郎 氏(北海道大学大学院法学研究科・准教授、法哲学) 「現代法哲学における平等論の最前線——『関係の対等性と平等』(弘文堂、 2019年)の補遺も兼ねて」</p> <p>共催:北海道大学法学会、北海道大学政治研究会、北海道大学法理論研究 会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
2020年01月 14日(火)	<p><b>共催研究会</b> 「Legal Regulation of Navigation Along the Northern Sea Route」</p> <p>時間:17時00分～18時30分</p> <p>場所:北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 5階 W507教室</p> <p>報告者:Viatcheslav GAVRILOV 氏(ロシア極東連邦大学・法科大学院教 授)</p> <p>論 題:”Legal Regulation of Navigation Along the Northern Sea Route”</p> <p>使用言語:英語</p> <p>主催:小樽商科大学法制研究会／北大国際法研究会</p> <p>共催:北大法学研究科附属高等法政研究教育センター／北大北極域研究セ ンター</p>
01月25日(土)	<p><b>法理論研究会定例研究会「『司法優越主義』に関する一考察」</b> 「Lochner 判決と革新主義の再検討」</p> <p>時間:13時30分～</p> <p>場所:小樽商科大学小樽キャンパス 2号館 5階 BL-2 教室</p> <p>■報告1 題 目:「『司法優越主義』に関する一考察(仮)」 報告者:鈴木 繁元 氏(北海道大学大学院博士課程、憲法)</p> <p>■報告2 題 目:「Lochner 判決と革新主義の再検討(仮)」 報告者:清水 潤 氏(白鷗大学法学部・准教授、憲法・比較憲法・法思想)</p> <p>主催:北海道大学法理論研究会、公法研究会、北海道大学法学研究科附属 高等法政教育研究センター</p>
02月01日(土)	<p><b>ワークショップ「体制転換と法」研究会</b></p>

	<p>時間:14時～18時 場所:北海道大学法学部 センター会議室(315室)</p> <p>第1報告: 「2020年台湾の選択——総統、立法委員選挙分析」 報告者:鈴木賢(明治大学教授)</p> <p>第2報告: 「ロシア民法における占有について——K.I.Sklovskijの論文を紹介しつつ」 報告者:篠田優(北星学園大学教授)</p> <p>共催:「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
02月21日(金)	<p><b>法理論研究会定例研究会「移民法学の諸課題とそのディレンマ構造」</b></p> <p>時間:14時～ 場所:北海道大学法学部 センター会議室(315室)</p> <p>「移民法学の諸課題とそのディレンマ構造」 報告者:吉田 邦彦 氏(北海道大学大学院法学研究科・教授)</p> <p>主催:北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>
02月28日(金) 【開催中止】	<p><b>カンファレンス「私法統一の成功の条件」</b></p> <p>時間:13:00～17:00(開場:12:40) 場所:公益財団法人商事法務研究会 1A 会議室</p> <p>第1部 報告 1. 西谷祐子 教授(京都大学)「私法統一の多様性:条約と非国家法の機能をめぐって」 2. 加賀見一彰 教授(東洋大学)「統一法の優位性の再検討」 3. 曾野裕夫 教授(北海道大学)「私法統一の機能的多様性:付加価値の観点から」 4. 小塚荘一郎 教授(学習院大学)「私法統一の成果:受容と拒絶」</p> <p>第2部 ラウンドテーブル・質疑応答 高杉 直 教授(同志社大学)〈司会〉/沖野眞巳 教授(東京大学)/加賀見一彰 教授(東洋大学)/小塚荘一郎 教授(学習院大学)/児矢野マリ 教授(北海道大学)/曾野裕夫 教授(北海道大学)/西谷祐子 教授(京都大学)</p> <p>共催:科研基盤(A)「国際的な私法秩序の実効的形成のための理論構築:『私法統一』の先へ」プロジェクト、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p>